

Assist

~ アシスト ~

名寄商工会議所

名寄市西3条南5丁目
TEL 01654-3-3155 FAX 01654-2-0571
URL <http://hokkai.or.jp/nayocci/>
E-mail nayocci@hokkai.or.jp

創立六十周年の節目を迎え、 一層の信頼される会議所づくりを

年頭所感

名寄商工会議所

会頭 木賀 義晴



新年明けましておめでとございます。

平成二十二年の年頭にあたり会員並びに関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

顧みますと、昨年の我が国経済は、米国や欧州における世界金融危機に端を発した影響により、景気の低迷が続いております。北海道経済においても大きく影響を受け民間設備投資の減退、個人消費の冷え込み、さらには引続く公共事業の縮減、雇用情勢の悪化など大変厳しい一年でありました。

一方、政治では八月の衆議院議員選挙において民主党が圧勝

するなか、歴史的な政権交代が行われるという大きな出来事がありました。

また、こうしたなか地域における景況をみると、当名寄地域においても道内他都市同様、個人消費の伸び悩みや、郊外型大型量販店等の出店による影響さらには公共事業の縮減が続くなど地域経済は大変厳しい環境下で推移して来ているのが現実であります。

当所としては、こうした厳しい状況下にあつて、とりわけ小売商業の販促活動に少しでも元気づけ出ればとの思いで、市の格別の支援・協力を得て、一昨年より昨年末にかけ数度に亘りプレミアム付地域商品券の発行を行い、一定程度の評価を頂いたものと考えております。今後についてはこれまでの事業集約を待って、充分検討を行い、新年度に向けて方向性を見出し、行きたいと考えております。

また、中心市街地活性化計画については、市としての基本方針として、これまで進めて来た

国の「中心市街地活性化基本計画」の認定を受けて事業推進を図るといふ考え方は、ハードルが高く、極めて難しいので、これに替わる他の補助制度での事業取組みに変更することとし、事業規模・区域についても当面は駅南地区を優先して先行実施したい、また地区内の商業施設等の事業実施者には地元企業（株西條）により整備することとしたいとの方針が示されたことと、私共経済界としても現実的な対応として、こうした方向で事業推進を図ることに協調していくこととし、現在、市と具体化に向け協議を続けているところであります。

尚、本事業計画中の複合交流施設（交通ターミナルなど）に、当所の商工会館が築後四十年余り経過し老朽化していることと、

駅南地区により以上賑わいづくりが図られることになるのであれば、との思いもありこの機会に移設・併設をすることの可能性についても、現在、市と協議を進めており、会員・役議員の皆様のご意見も伺いながら本年度内には一定の方向付けをしたいものと考えております。

また、当所が地域振興策としてこれまで国など関係機関に強く要請して参りました事業について申し上げますと、一つは「サウルダム」の建設計画がありましたが、昨年の政権交代により全国のダム建設事業の見直しに連し、先の新年度予算計上の見送りが見込まれ、事実上凍結ともいえるもので、地域にとつては大変残念な結果となりました。然しダムの必要性は何ら変わるものでなく、今後とも要請を続けていかなければなりません。

二つ目には、「高速自動車道土別・剣淵～名寄間」の建設促進ですが、このうち土別・剣淵～多寄間についてはすでに着手されていますが、多寄～名寄間は抜本的見直し区間とされ未だ建設着手になっておりません。新政権の道路予算削減、圧縮の考え方もあり大変厳しい状況にあ

「ページの続き」
りますが、粘り強く引き続き要請していきたいと思います。

三つ目には国道四十号「名寄バイパス」ですが、工事が進められていた智恵文美深間が早ければ本年三月中にも全線完了・供用開始とされ、地域にとつては大変喜ばしい限りであり明るい話題の一つでもあります。

次に名寄市に関連する事項では「新天文台」の完成という明るい話題があります。いよいよ本年完成年を迎え四月には完成・オープンになるとのことであり大変喜ばしいことでもあります。口径が一・六mと日本で二番目に大きな望遠鏡を備えるもので、天文関係者のみならず一般の方々にも注目され、完成が待たれており、今後はカーリング場など交流施設との連携が図られることから、交流人口増に寄与するものと、大いに期待されているところであります。

また、旧風連町とは合併後四年目を迎えているなか

これまで私共経済界として新しい仲間としての風連商工会とも連携協力出来るところは違いに、素直に意見交換をするなどし、事業協力をして来ておりますが、そろそろこれまで以上に強い連携協力を進める為にも、今後の連携協力のあり方を真摯に積極的に話し合える機会を設けていかなければと思っております。

最後になりますが、私共名寄商工会議所も本年で創立六十周年の節目を迎えます。この間歴代の役員をはじめ会員の皆様そして多くの関係者のご支援により、厳しい経済状況の中で地域総合経済団体として、会員ニーズの把握・対応に努め、活力ある街づくりの為、国・道・市などの関係機関に対し積極的に政策提言活動を行って参りました。六十周年の節目を機に現下の厳しい時代に向けて会員企業・団体がともに活力ある事業活動が出来得るように、また各種問題に適切に対応出来る体制を整え、相談・指導業務の効果的な実施に努め、信頼される会議所づ

くりを目指し共にまい進して参る覚悟でありますので、今後とも会員皆様の一層のご理解、ご支援を切にお願ひ申し上げる次第であります。あらためて会員皆様の益々のご繁栄を心よりご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶と致します。



本年もよろしくお願ひ申し上げます

名寄商工会議所役職員

会頭	木賀 義晴	柴田 雄次
副会頭	黒田 英二	森川 幸延
専務理事	真鍋 和一	黒川 清
常議員	菊池 隆志	大野 茂実
	田原 靖久	松前 衛
	白木 堅造	榎山 秀明
	西條 久喜	藤野 光弘
	五十嵐正三	栗原 智博
	倉澤 繁夫	寺島 勝之
	村田 満	吉川 博己
	西川 剛弘	桑原 裕敏
	下田悌津夫	山本 重存
	藤本 雅彦	齊藤 修
	坂本 和彦	品地 信一
	梅野 博	白鳥 晃
	秋葉 清司	明石 欽弥
	中山 泰英	加藤 剛士
	滝沢 照子	湯川 勇三
	竹内 利行	村西 博
	藤田 健慈	吉田 次男
	坂下 勇勝	大野真一郎
	三浦 哲也	長谷川良雄
	菅井 静夫	奥山 省一
	猿谷 繁明	小国 喜次
	東澤 光芳	庄司 憲治
	後藤 照男	

年頭所感

日本商工会議所

会頭 岡村 正



平成二十二年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

一昨年秋の米国金融危機に端を発した世界同時不況は、各国の共同歩調による金融政策や経済対策などにより最悪期は脱しつつあります。一方、わが国経済は、徐々に持ち直してきてはいくもの自立性に乏しく、特に中小企業や地域経済は、まだまだ極めて厳しい状況が続いています。中国などの新興国の回復を背景に、輸出や生産に持ち直しの期待はあるものの、個人消費や設備投資などの内需は低迷しており、先行きはまだ楽観できません。

また、IT化・ネットワイク化、価値観・ニーズの多様化といった時代の大きな潮流変化も顕著に表れる

中、地球規模の温暖化の問題に加え、少子高齢化、財政再建、社会保障制度のあり方など国内の構造的な課題をわが国は抱えております。

昨年わが国は、十数年ぶりの政権交代という大きな変革の決断をしました。国民が政権交代を求めた根底にあるものは、社会の閉塞感や将来への危機感です。日本商工会議所は鳩山内閣に対して、新政権誕生後すぐに、喫緊の課題である景気・雇用対策について、会員の総意を取りまとめ、内外需一体の経済成長を実現する政策を講じ、着実かつ機動的に実行していただきたい、と要望しました。また、将来展望が開け活気に満ちた社会の構築に向けて、これからの国の姿をしつかり示すよう求めたところで、明確なビジョンの共有こそが、活力あふれる明るい未来の実現に向けた大きな推進力となるものです。

振興国の台頭の中で、近々中国経済が日本の名目GDPを上回る予測もある中、わが国の相対的な経済

地位の低下という現実回避は避けられず、日本が「世界第二位の経済大国」というアイデンティティを持つことができた二十世紀は既に過去のものとなりました。二十一世紀は量と規模を求め、心の豊かさや質を追い求め、日本が持続可能な経済発展を遂げていくためには、環境問題の解決とともに生産性を向上させ、人や社会に新しい価値を提供していかなければなりません。

日本の強みは、これまで世界に先駆けて多くの優れた独自の技術とそれを生み出してきた高度な「人材」です。日本はその強みで勝負し、世界一の「科学技術創造立国」を目指すと、この明確な方向性を打ち出し、官民一体でこれに取り組むべきだと思えます。また、機動性と柔軟性に富む中小企業は、新たな産業分野への挑戦が最大の武器になります。大企業と積極的にパートナーシップを組み、消費者に支持される良質なものをつくる価値観を共有していくことも大切です。

政府には、質の高い科学技術の国を目指し、国際的な地位を確立するよう、企業支援はもとより、研究開発、教育などの必要な施策を打つことが求められます。

会頭就任時に私は、「それぞれの企業、個人がしっかりと光らなければ、地域、そしてその国は育たない」という考えの下に、「個が光るイノベーション」というスローガンを掲げました。全国五百十五商工会議所の百三十八万会員それぞれが、独自の強みを存分に発揮し、「個が光る」活動を展開することを大いに期待しています。それらの光が集まり、個性豊かで元気な地域が育まれることはわれわれの望みです。

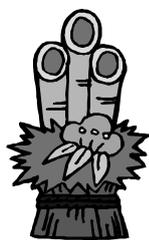
商工会議所には百三十年を超える長い歴史と実績に基づいた「地域経済社会を革新するイノベーションを絶え間なく引き起こしていく原動力」があると確信しています。変化しないことを恐れる、といった気概を持ち、商工会議所自身もイノベーションを図り、常に

挑戦していかねばなりません。商工会議所はこれからのため、中小企業の活力強化のためにしっかりと支援いたします。また、地域社会のコーディネート役を担い、行政や企業、市民を橋渡しし、持続可能な生活基盤の構築に邁進します。

皆様とともに直面する難局を乗り越え、新しい時代に即応した存在感のある「頼りになる商工会議所」ではなくてはならない商工会議所であり続けるよう全力で取り組む所存です。

日商は、引き続き全国の商工会議所相互のネットワークをさらに強固にしながら、政策提言力を強化し、その実現に向け力を尽くしてまいります。

皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。といたします。



年頭所感

北海道商工会議所連合会

会頭 高向 巖



平成二十二年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶び申し上げます。

顧みますと、昨年の我が国は、政治に新しい風を期待した民意の結果として、民主党鳩山新政権が発足し、歴史的な政権交代が行われました。

一方、我が国経済は、緊急経済対策などの効果により、最悪期から立ち直りつつありましたが、全体的な物価下落などデフレの進行や、急激な円高などにより企業収益が悪化し、雇用に悪影響を与えているなど、景気が再び下降し、「一番底」に陥ることが危惧されております。

北海道経済においては、景気回復を実感できずにいた中、新型インフルエンザの流行による観光産業へのダメージや、天候不順によ

る農作物への影響、さらには円高の進行など予想外のリスクに見舞われ、景気はさらに悪化し、先行きへの不安は増大しております。

当面の課題は、切れ目のない景気対策の実施により、仕事、雇用の場を確保することであり、また、地域経済の屋台骨である中小企業に、厳しい経営環境の中にあつて本来持つていける力を十分に発揮できるように、金融対策、事業再生支援、創業・新事業展開支援、中心市街地の活性化対策等の強化が求められております。

経済環境は、我々の予想を上回る速さで変化を続けております。こうした変化に対し、スピード感を持つてしなやかに対応していくためには、企業そして商工会議所が時代に合わせ、自らを「変革」させて行くことが重要です。

経営の舵取りの難しい時代ではありますが、皆様には是非とも、ピンチの時にこそ現状を把握し将来に備えた事業を考えるチャンスと捉え、前向きに事業に取り組みんでいただきたいと思います。

ます。

また、北海道は、広大な土地、豊かな自然環境と農林水産物など、多くの優れた特色を有しております。北海道経済の自立には、その特色を活かし、基幹産業である観光産業の振興はもとより、第一次産業と商工業がしつかりと連携することが大切です。

本道の持つ可能性と潜在力を引き出し、第一次産業と第二次・三次産業とが一体となり、食品加工を中心としたものづくり事業を積極的に取り組み、安全・安心な食料基地として道外・海外への販路開拓に努めていくことが、北海道経済の活性化に直結することとなります。

さらに、本道の持てるポテンシャルを十分に発揮させるためには、広大な北海道を結ぶ交通基盤を整備し、物流の効率化、交流人口の増加を図ることが不可欠です。

北海道新幹線については、新函館までの早期開業を目指すとともに、新函館・札幌間の一日も早い延伸実現

を、高速道路については、高規格幹線道路網の着実且つ継続的な建設促進に向けて運動を展開していかなければなりません。

地域経済の先導役である商工会議所は、地域経済の活性化に向け積極的に行動を起こさなければなりません。我々が「役に立つ商工会議所」として気概

を持つて行動すれば、自ずと道は開けるものと確信いたしております。

皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に各地商工会議所並びに関係各位の益々のご繁栄をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

経営安定セミナー 2010 年新春特別講演会

今後の景気動向と政治経済のゆくえ

日時：平成22年1月22日(金)
16:00～17:30

会場：名寄市 グランドホテル藤花 2F

講師：(株)読売新聞本社特別編集委員
はしもとごろう

橋本 五郎 氏



入場無料：ただし席に限りがありますので、入場整理券をお求め下さい。

入場整理券配布所：名寄商工会議所 グランドホテル藤花
北星信用金庫本店・市内各支店

問合せ先 名寄商工会議所
名寄市西3条南5丁目 TEL 3-3155

【主催】名寄商工会議所
【協賛】北星信用金庫 / (財)日本電信電話ユーザ協会名寄地区協会
(社)名寄地方法人会名寄会 / 中小企業相談所経営安定特別相談室
【後援】名寄市

永年の功績を称え

今年も第五十八回優良従業員表彰式と当所産業表彰を平成二十二年一月二十二日(金)にグランドホテル藤花で、新年交礼会・新春講演会に併せて行います。

受賞者は次の通りです。

名寄商工会議所産業表彰

功 労 賞 (敬称略)

沢田薬局 澤田義雄

西川鮮魚仕出し店 西川剛弘

井上ふとん店 井上洋一

代表 井上洋一

(有)佐々木時計店 佐々木憲一

代表取締役 佐々木憲一

優良従業員表彰

昭和产业(株) 勤続三十七年 一名

勤続三十七年 一名

名寄給食センター 勤続三十五年 一名

北昭産業(株) 勤続三十年 一名

(株)西條 二名

(株)真鍋組 二名

大野土建(株)名寄支店 二名

(株)ひまわり 二名

北海舗道(株) 二名

(有)岩守産業 二名

名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

新入会員のご紹介

事業所名	住所	代表者	業種
1 CLUB JAM	西4南4	及川 誠	飲食業
2 西洋居酒屋びすところ	西4南4	小川 勝彦	飲食業
3 スナック BROS	西5南4	古屋 誠	飲食業
4 スナック アンジュ	西3南5	長谷川久美子	飲食業
5 スナック にれ	西4南5	鈴木 大樹	飲食業

H21.10～

会員募集中!!

新しく事業を始められた方をご存知でしたら是非ご紹介下さい。

- (株)グランドホテル藤花 一名
- 下田鉄夫税理士事務所 一名
- (株)名寄給食センター 一名
- 勤続二十年 一名
- (株)丸徳木質商店 一名
- (株)西條 二名
- 北昭産業(株) 一名
- (株)緑や 一名
- 北建工業(株) 一名
- (株)グランドホテル藤花 四名
- (株)名寄給食センター 一名
- 勤続十年 一名
- (株)西條 九名
- (株)清水金物店 一名
- (株)グランドホテル藤花 四名
- 名寄美装工業(株) 五名
- (株)名寄振興公社 二名
- (以上、十七事業所四十五名)

社会保険事務相談所開設日程 (平成22年1月～3月分)

	名寄商工会議所	名寄市役所	時 間
1月	27日(水)	なし	10:30～16:00
2月	23日(火)	なし	10:30～16:00
3月	24日(水)	なし	10:30～16:00

平成22年1月からは『完全予約制』です。

相談予約専用電話番号 **0166-72-5004**

予約のない場合「後日回答」となります。相談は予約者を優先して行うことから、予約以外の相談者への対応が出来ない場合もありますのでご注意ください。

確定申告・消費税のご相談はお早めに!

まもなく確定申告の時期がきます。

準備はお済みでしょうか?

名寄商工会議所では、皆様の確定申告・消費税に関するご相談をお受け致しております。必要書類等をご持参の上、ご相談下さい。

提出期限

所得税 3月15日(月)

消費税 3月31日(水)

提出期限直前は大変混みあいますのでお早目にお越し下さい。

税制改正のポイント

減価償却資産の区分と耐用年数の見直し
住宅ローンの特別控除が拡充、
5年間の摘要延長

『共済制度キャンペーン』終了の御礼

このたび10～11月の2ヶ月間に渡り、共済制度キャンペーンを実施致しました。

会員事業所・従業員の皆様方には、大変お忙しい中、商品の説明をお聞きいただきましてありがとうございました。

また、この機会に共済へご加入いただいた事業所様におかれましても併せてお礼申し上げます。

今後も商工会議所の共済推進にご理解いただき、事業所の福利厚生としてご利用いただきますようお願い申し上げます。

回顧

2009.10～12



名寄市へ要望書提出
(11.11 正副会頭他にて、
中心市街地活性化等について
要望いたしました)



北海道知事等と道商連正副
会頭等との懇談会(11.26 木
賀会頭出席し、金融政策等に
関する質問事項に知事が回答
する場面がありました)



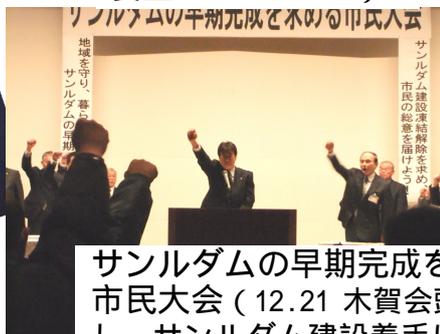
名寄駐屯地看板照明
設備引渡式及び点灯
式(11.5 木賀会頭出席
いたしました)



防衛省へ陳情(11.7
木賀会頭出席し、自衛
隊体制維持について
要望いたしました)



アジサイを植栽
(10.19 運輸観光委員
会が中心となり、今年
は場所を名寄公園から
サンピラーパークに移し、
開催いたしました)



サンルダムの早期完成を
求める市民大会(12.21 木
賀会頭他出席し、サン
ルダム建設着手について
要望いたしました)



地域商品券完売

平成二十一年十二月六日(日)、二千五百セット限定で、プレミアム抽選付き「なよろ地域商品券」を名寄商工会議所と風連商工会の二会場で販売し、多くの市民の方が訪れ、一等が当たった鐘の音には歓声が上がって賑わいを見せました。

「なよろ地域商品券」は、名寄商工会議所と風連商工会で組織する「なよろ全市連合大売出し実行委員会」で企画され、平成十九年度に一回(千五百セット)、平成二十年度に三回(総数一万二千五百セット)の発行をし、今回で五回目となりました。

今回の地域商品券は、一セット一

新年交礼会

平成22年1月22日(金) 18:00
グランドホテル藤花

ご案内

第58回優良従業員表彰式	15:00
新春特別講演会	16:00
新年交礼会	18:00

【場所】グランドホテル藤花

新年交礼会の会券あります。
詳しくは名寄商工会議所まで。
(TEL) 3 - 3 1 5 5

万円でお一人様五セットまでの購入が可能、一セット毎に一回プレミアムの抽選ができ、一等一万円・二等五千円・三等千円の地域商品券が当たり、惜しくも当たらなかった方も五百円の地域商品券がその場で贈呈されました。

当日は午前十時から販売し、会場前には地域商品券を求める長蛇の列ができ、販売から一時間で完売する盛況ぶりでした。

一番早い方は販売開始の三時間前から並んでおり、「出費の多い年末年始の買い物に充てたい」と話していました。

なよろ地域商品券の利用期間は、平成二十一年十二月六日から平成二十二年五月三十一日まで。